

新潟県女性センター情報 No.87

2011. 10. 20 発行

セミナー報告

10月2日(日)防災カードゲーム「クロスロード」で学ぶリスク・コミュニケーションを開催しました。自治体や社会福祉協議会などから、22人の参加がありました。

「クロスロード」は、阪神・淡路大震災において災害対応にあたった神戸市職員へのインタビュー内容が元になり開発された防災シュミレーション・ゲームで、カードを用いて行います。災害対応はジレンマを伴う重大な決断の連続です。カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YESかNOかで自分の考えを示し、参加者同士が意見交換を行いながら緊急時の判断を模擬体験し進めていきます。

講師には神戸クロスロード研究会理事、神戸市長田区まちづくり課長の西修さんをお呼びしました。西さんは住民との協働のまちづくりに取り組み、クロスロード・ファシリテーションの普及にも力を注いでいます。

セミナーの冒頭、西さんが撮影した写真で阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)の被害状況と体験談をお話して頂きました。



講師の西修さん

○体験してみよう

「クロスロード」はすぐにできる、誰にでもできるがコンセプトです。オリジナルの「神戸編」を体験。【あなたは避難所の食糧担当 被災から数時間。避難所には3000人が避難していると確かな情報が得られた。現時点で確保できた食料は2000食。以降の見通しは、今のところなし。まず2000食を配る？ YES(配る) or NO(配らない)】

参加者は手元のYESかNOのカードのどちらかを選び、テーブルの中央に裏向けで置きます。「せーのオープン！」西さんの掛け声で一斉にカードを裏返します。「オー」という声 that 各テーブルから聞こえ、多数派が得点の青座布団を1枚もらうことができます。また、1対4など少数派がいた場合は、その方に金座布団が贈られます。そして、一人ずつ「どうしてそのカードを選んだのか」を自分の言葉で説明していきます。同じYESでも選んだ理由は人それぞれ。ゲームだから深刻な内容も話すことができる場合もあるそうです。



○設問作りに挑戦

今回は「クロスロード」を体験するだけでなく、参加されている皆さんが日常の現場に持ち帰って使っていただけるように、設問作りも行いました。設問作りを通して自分の課題や体験を共有します。まず、グループ内で、自分の職場や家庭、地域生活において「迷った」「どうしよう」と感じた体験を付箋に書きだしていきます。その中から一つを選び、設問を作っていました。最後はこの日一番白熱した景品授与です。青座布団の多かった人から西さんのお土産神戸スイーツをいただきました。金座布団の人も景品がもらえます。少数派の意見も大切にというクロスロードの精神がここでも活かされていました。

あっという間の楽しいセミナーで、コミュニケーションを深めるという点では有益だったという感想が多くありました。さらに、「そもそもリスク・コミュニケーションって何だったの?」「合意形成に至るスキルも知りたい」といった次へつながる声もたくさんありました。

国の第3次男女共同参画計画の重要分野に「地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進」が加えられました。防災、災害復興において女性の視点が求められています。また、様々な分野、特に政

策・方針決定過程への女性の参画の拡大は喫緊の課題です。今回の「クロスロード」の研修は、女性も男性もともに多様な意見を尊重しながら課題を深める場でした。地域の男女共同参画を進める上でも大切な体験であり、手法であることから、今回の人材育成セミナーを開催しました。次回はあなたもぜひ!ご参加ください。



地域セミナー

女性財団では、市町村と協働で地域セミナーを開催しています。7月から開催したセミナーの報告です。



●地域セミナーin 阿賀野市

阿賀野市で農業に関わる女性たちの会「はじめのいっぽ」の協力で、7月から「見る・触れる・考える 家族で楽しむ地産地消」を開催しています。

7月は「探検！ブルーベリー圃場」で、熟れたブルーベリーを摘み取りました。農家の清水さんからブルーベリー栽培のきっかけやご苦労をお聞きすることもできました。小さなお子さんと家族そろって参加してくださった方もいました。収穫後の休憩時に自己紹介・情報交換もでき、ブルーベリー栽培に興味があったという方や、阿賀野市に引っ越してきたので農業についても知りたいという方など、年代も様々でとても楽しいひと時でした。

10月には稲刈り体験（10/1実施済み）、11月には正月料理づくり、2月は地場産料理で農家の休日と、1年を通して、農家のくらしを感じることができます。

農家の魅力を知っていただくには、実際に農業の現場で輝く女性たちと触れ合っていただくのが一番と、このセミナーを企画しました。新潟は農業県なので、他市町村にも応用して開催していきたいテーマです。

●地域セミナーin 佐渡市



佐渡市での地域セミナーは2回目になりました。今年度は子育て中だから気づくことを話し合っていたきながら、男女共同参画について考える「みんなが輝く島づくり～私の一歩を見つけよう～」をワークショップ形式で開催しました。9月16日、会場のトキの村元気館に小さなお子さんを連れた方を中心に、男女25人が足を運びました。講師は子育て支援ファシリテーターの立松有美さん。

「朝起きてから、ここに来るまで、私と夫どちらが忙しいか？」についてグループで話し合いました。食事の用意、洗濯、子どもの着替えなど、家事を女性が担っていることが多いのが現状です。性別役割分業が育児不安につながることもあり、「女だから、男だから」という社会的性差（ジェンダー）が、イメージを刷り込むだけでなく、生きづらさにつながっていることなど、立松さんからお話して頂きました。

参加者の感想では、分からないことが多かったのもう少し勉強したい。時間が足りないくらいアツという間だった。男性ももっと参加してほしい。こういった会を継続できたらいいなどがあり、好評でした。

●地域セミナーin 十日町市



子育て中の父親を対象に、「パパ大好き！！お父さんのための読み聞かせ講座」を、十日町情報館で開催。このセミナーは絵本の読み聞かせを通して、父親のより積極的な育児参加を促し、子育てにおける男女共同参画の促進を図ることを目的として企画しました。

4回シリーズで、1回目は新潟市在住の絵本作家サトシンさんを講師に、「絵本を楽しもう パパ大好き！！の極意 おてて絵本も伝授！」を実施。当日は、公開講座のため、父親と子どもの他に、絵本に関心のある人や子どもに関する活動をしている人も参加。歌あり、読み聞かせの実演あり、と飽きさせない内容で、参加していた子どもたちは大喜び。また、「（てのひらに）何が見える？」とおてて絵本の極意も披露。「会話を楽しみながら、子どもと同じ時間を共有し、子どもに安心感を実感させてほしい。父親が積極的に子育てに関わる事で、パートナーとの協力関係を築くことができる。ひとりひとりが大切な存在で、違いを認めあうことが大切。これは、男女共同参画で伝えたいメッセージと重なる部分がある」と説明。

2回目以降は、十日町市や津南町で活動する絵本の読み聞かせグループのボランティアの方々が講師を務めます。父親の子育てについて考え、男女共同参画社会の形成を図る機会となることを願っています。

人材育成セミナー

10月から12月にかけて開催する人材育成セミナーです。詳細は、ホームページ (<http://www.npwf.jp>) をご覧ください。

日時	タイトル・講師	定員・参加費
10月29日(土)30日(日) 10:00~16:00	使える!ロジカルシンキング 講師:堀公俊(組織コンサルタント)	【定員】20人 【参加費】10,000円
11月9日(水)30日(水) 13:30~16:30	女性起業家のための経営セミナー 講師:山田まり子(中小企業診断士)	【定員】起業した女性12人 【参加費】5,000円
11月13日(日) 9:30~16:30	ファシリテーション基礎講座 講師:加留部貴行(日本ファシリテーション協会フェロー)	【定員】20人 【参加費】10,000円
11月19日(土)26日(土) 10:00~16:00	働く女性リーダーのための組織マネジメント 講師:丸山結香(経営コンサルタント)	【定員】働いている女性20人 【参加費】10,000円
12月10日(土)11日(日) 10:00~17:00	トラブル解決力アップセミナー 講師:鈴木有香(早稲田大学紛争交渉研究所客員研究員)	【定員】20人 【参加費】10,000円

*会場はいずれも新潟県女性センター 女性団体交流室2

企業交流会議

新潟県女性財団では、新潟県と共催で「ハッピー・パートナー企業交流会議(トップセミナー)」として講演会を開催します。講師は、「働きやすい会社ランキング」の常連企業である(株)資生堂で先駆的な人事施策や組織改革を実行し、社員の成長と企業の成長を共存させることに成功した、元人事部次長の山極清子さん。ワーク・ライフ・バランスと社員・企業の成長について考えてみませんか。

【日時】 11月1日(火)14:00~16:00

【会場】 ホテルサンルート新潟 2階「芙蓉の間」

【内容】 講演「会社や地域を元気に!ワーク・ライフ・バランスが支える女性活躍への取組」

講師 山極清子さん(立教大学大学院特任教授、株式会社wiwiw社長執行役員)

【定員】 70人 ※事前申込が必要です。

【申込み・問合せ先】 新潟県県民生活・環境部男女平等社会推進課

TEL:025-280-5142/FAX:025-280-5166/E-mail:ngt030130@pref.niigata.lg.jp



保育ヘルパーグループ研修会

地域で活動する保育ヘルパーグループのスキル向上のため、今年も実行委員とともに検討を重ね、研修会を企画しました。多くのグループの方が参加できるよう県内3会場で下記の通り開催します。

	下越会場	上越会場	中越会場
日時	12月5日(月)	12月6日(火)	12月9日(金)
	各会場10:00~12:00		
会場	新潟ユニソンプラザ (新潟市中央区上所2-2-2)	上越市市民プラザ (上越市土橋1914-3)	まちなかキャンパス長岡 (長岡市大手通2-6)
講師	小林富貴子さん(プラスビューカレッジ理事長)		
タイトル	「気持ちに寄り添う 保育室の運営~コミュニケーションスキルアップ編~」		
対象	県内の保育ヘルパーグループで活動している人 各会場とも30人		
その他	参加費無料		

*「保育ヘルパーグループ交流会」を、平成24年3月15日(金)午前10:30より、ホテルサンルート新潟(新潟市)にて行います。詳細は決まり次第お知らせします。

今秋に開催される男女共同参画関連イベントのお知らせです。詳細については、それぞれの「問合せ先」にお電話ください。

●新潟市 アルザフォーラム 2011「始めよう、私にできること～ちいさくても△（参画）～」
基調イベント 基調講演「なぜ防災・減災・復興に男女共同参画の視点が必要か」

講師：相川康子さん（特定非営利活動法人 NPO 政策研究所専務理事・元神戸新聞社論説委員）

パネルディスカッション

さまざまな立場の人が参画することの大切さを、市民活動・地域活動・ボランティア活動と、それぞれの分野で活躍中のパネラーの皆さんから語っていただきます。

【開催日】11月20日（日）13：00～16：30 【会場】万代市民会館 6階多目的ホール

【定員】280人（先着順） 【参加費】無料

【保育】6か月以上未就学児15人（先着順・協力費1人500円）

【申込み】10月9日（日）～11月4日（金）に市役所コールセンター（電話：025-243-4894）

【問合せ先】アルザフォーラム 2011 実行委員会事務局（アルザにいがた内） 電話：025-246-7713

*11月19日（土）～11月27日（日）間に、分科会・ワークショップなどの開催もあり。

●長岡市男女平等推進センター10周年 ウィルながおかフォーラム

分科会1 トークショー「結婚！？キメるのはあなたです！」

【開催日】10月22日（土）13：30～16：00 【会場】長岡市中央図書館 2階講堂

【講師】高橋なんぐさん 渋井保之さん（新潟お笑い集団 NAMARA）

【定員】50人（先着順） 【参加費】無料



分科会2 セミナー「ココロとカラダのセルフメンテナンス」

【開催日】10月26日（水）13：30～16：00 【会場】みしまコミュニティセンター

【講師】水科江利子さん（フィットネスインストラクター）

【定員】30人（先着順） 【参加費】無料

【問合せ先】長岡市男女平等推進センター ウィルながおか 電話：0258-39-2746

*11月5日（土）～11月26日（土）間に、ウィルながおか登録団体主催によるイベント開催もあり。

ウィルながおか10周年記念講演「★宇宙主夫★～さらなる夢を追いかけて～」は、6月に終了しました。

●第26回柏崎フォーラム

基調講演会「男女共同参画が必要な本当の訳—生き生きした社会を目指して—」

【開催日】11月6日（日）13：30～15：30 【会場】柏崎市市民プラザ

【講師】平山征夫さん（新潟国際情報大学学長・前新潟県知事）

【参加費】無料 【保育】6か月以上小学校低学年まで。子ども1人200円。10月25日までに要申込。

【問合せ先】柏崎市男女共同参画室 電話：0257-20-7605

*11月5日（土）～11月6日（日）間で、ワークショップの開催もあり。

●つばめ「女（ひと）と男（ひと）」ふれ愛フェスタ 2011

講演会「がんばっぺ、オラの大好きな日本～未来へつなぐ家族の絆～」

【開催日】11月6日（日）15：00～16：30 【会場】燕市文化会館

【講師】ダニエル・カールさん（タレント・山形弁研究家）

【参加費】無料 【保育】6か月以上。定員10人。

【問合せ先】燕市地域振興課 電話：0256-92-2111（内線252）

*ワークショップの開催もあり。



編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail npwf@npwf.jp ホームページ http://www.npwf.jp